

宇部のコミュニティ・スクール

地域とともにある学校の運営に必要な機能

みなさんは、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の運営に欠かせない機能（3つの視点）をご存知でしょうか。「熟議」「協働」「マネジメント」の3つです。その中でも「熟議」は、学校運営協議会において、学校と地域が、ビジョンや課題、情報などを共有し議論をすることで意思を形成する重要な場であり、学校と地域が連携・協働していくための基盤とされています。

市内各小中学校の学校運営協議会でも熟議が活発に行われ、子どもたちや地域にとってよりよい成果が現れています。今後も、学校運営協議会（各部会を含む）での熟議が盛んになり、学校教育目標やめざす子ども像の実現に向けた保護者・地域との連携・協働が進むことを願います。

熟議

熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のこと。活発な議論により、的確に多くの人の意見を反省することができる。

熟議のプロセス

- ① 多くの当事者（教職員、保護者、地域住民等）が集まり、「学校や地域の課題」を共有し、
- ② そのことについて学習・「熟慮」し、「議論」することで、
- ③ 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- ④ それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- ⑤ それぞれが納得して、自分の役割を果たすようになる。



「どのような子どもを育てていくのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有

熟議のテーマ例

- ・子どもたちがどう育ってほしいか
- ・学力を向上させるには
- ・あいさつができる子どもを育てるために
- ・ふるさと学習を進めるために
- ・地域の力を学校教育に生かすには
- ・SNSの使い方について
- ・学校地域合同運動会について
- ・下校時の安全確保について

熟議の展開例（60分）

- ① オリエンテーション ……なぜ、熟議開催に至ったかを確認する。
- ② テーマに係る資料の共有 ……テーマについての知識・背景を共有する。
- ③ 熟議（前半） ……付箋等を用いながら意見や思いをたくさん出す。
- ④ 熟議（後半） ……前半で出た意見について、方向性をもって話し合う。
- ⑤ グループごとの発表 ……各グループ1分程度でまとめ、全体で発表する。
- ⑥ 終わりのあいさつ ……今後の話し合いの場をどこでもつかを提案する。

「熟議」で提案されたプランを、課題解決に向けた具体的実践につなげていく

協働

熟議で共有したビジョンや目標の体制に向けて、力を合わせて「子どもたちのため」に取り組みます。熟議で出た意見は、すぐに全てが実行できるわけではありませんが「できることから協働を始める」ことで、徐々に多くの人が関わる協働体制が構築されていきます。

文部科学省パンフレット「コミュニティ・スクール2017」参考

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp